

山梨県がん対策推進協議会
座長および関係者の皆様

2024年9月11日
NPO 法人がんフォーラム山梨
理事長 若尾直子

「第4次山梨県がん対策推進計画実行」に向けて若尾意見提出
～誰一人取り残すことのないがん対策策定のために～

2024年度から始まっている「山梨県がん対策推進計画（第4次）」策定において、県民意見提出制度での意見反映に感謝申し上げます。第4次山梨県がん対策推進計画の個別目標を達成するために、「まとめ」を含む以下の意見を提出いたします。

1点目

「全体目標」では「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す」とあります。とても重要な目標で、これを明言していただけたことに感謝いたします。そこで、次はこの目標を達成するための行動を起こしていただきたい。

具体的には、県民への啓発・周知等が考えられます。そこで、民間等が開催するがん情報啓発などのイベント等に積極的に連携し、県独自の周知・啓発イベント等を開催していただきたい。

2点目

「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す」ためには、県や医療従事者等の努力では限界があります。そこで、各地域のがんサバイバー（がん体験者等）との連携を行い、どこに住んでいても「がんの克服を目指す」事ができる体制整備をお願いしたい。具体的には、突然がんの宣告等をうけ、戸惑っている患者・家族等に寄り添うことのできる「がんピアサポート」の活動や「がんサロン等」の展開を支援し、誰一人取り残さない対策につなげていただきたい。

誰一人取り残さないがん対策を推進し、がん計画の各目標を達成するために、県民、戸惑うがん患者やその家族等が、身近なサバイバー等とより接触できるような体制整備を県の施策として行い、必要とする当事者に情報が届くような事業を展開していただきたい、

まとめ

第4次のがん対策推進計画を元に、山梨県民が「がんの克服」をしていると思える施策をお願いしたい。この計画の期間は2029年3月です。最終アウトカムで県民の意識調査を行い、「がんを克服している」と回答する県民がどの程度存在するか数値化し次への対策に活かしていただきたい。

以上